

「伊達市健幸なまちづくり協議会」（伊達市）（令和元年度）

ふくしま自治研修センター
総括支援アドバイザー兼教授 奥原 英彦

「伊達市健幸なまちづくり協議会」（伊達市）（令和元年度）

伊達市では、市民ひとりひとりが健康で幸せな生活を送るため、「健幸都市」の実現を目指して、さまざまな取り組みを進めている（注1）。

「伊達市健幸なまちづくり協議会」は、この健幸なまちづくりを円滑に推進するため、健幸なまちづくりのあり方、施策その他健幸なまちづくりに関する協議をする場として、平成26年度から開催されている。

（注1） 伊達市健幸都市への取組み（伊達市ホームページ）

： [健幸都市の取組み - 福島県伊達市公式ホームページ \(fukushima-date.lg.jp\)](http://www.fukushima-date.lg.jp)

令和元年度、奥原は協議会の会長として、下記の支援を行った。

(1) 「協議会」の「運営」（1/22）

(2) 上記 (1)の協議会における各委員発言の総括と政策展望

1. （一般市民の）参加意欲、モチベーションを高めるにはどうするかが課題

健幸都市の成功事例をフィードバックしてほしい。モチベーションアップにつながるため、情報誌や会合の場で情報を広めてほしい。

2. （健幸都市づくりにおける）行政の役割はファーストステップである。

セカンドステップ、サードステップでは町内会、事業者、経営者、社協、などと協力して、次のステップに進むために役割分担が必要ではないか。

3. 健幸活動そのものが地域の活性化につながる

（例えば J リーグ、B リーグに見られるように）スポーツを地域に導入することで、若人の参加意欲を引き上げる。そのことが、地域経済を活性化させていく。

また、（例えば スポーツ・ジムに見られるように）健康サービスを担う産業ができれば雇用も増える。地域 GDP を高められる。

以上